

## 「水道水」と「井戸水」

普段、色々な場面で使われている「水」。  
それは、人々の命を支えています。

家に普及している水には「水道水」と「井戸水」があります。私の家では「井戸水」を使っています。つまり、水がよごれてしまったり、そうした場合には、「水道水」を使っています。正直私は、「水道水」と「井戸水」の違いや、それぞれどんなところがいいか知らなかったので、調べてみました。

まず、「水道水」は、河川や池、雨水などをダムにためたものなどの汚れを取り除き、消毒して各家庭へ送り届けているそうです。飲料水になるまでろ過や消毒を、なんと10時間もかけているそうです。浄水場でろ過や消毒をしていることは勉強しましたが、10時間もかけていることにはおどろきました。

山添村立山添中学校 三年

生駒 真梨花

次に「井戸水」。「井戸水」は地下の水脈にある地下水をくみ上げています。天然水だそうです。井戸には浅井戸と深井戸があり、浅井戸は地表から約八メートル、深井戸は三〇メートルをこえることもあるそうです。そのため、深井戸の水は地上の影響を受けにくく、不純物のリスクもかなり少なく、「ミネラルウォーター」と呼ばれているそうです。「井戸水」はくみ上げ後にろ過や消毒を行わないため、それぞれ風味や味が違い、個性があるのも特徴だそうです。

次に、「井戸水」のメリットです。メリットはいくつかあり、一つが無料だということです。

無料だということは最大のメリットだそうです。統計によると、日本人は1日1人あたり、約二八九リットル水を使い、一ヶ月にな

ると八六七〇リットルと、大量の水が必要だ  
そうです。これが無料となると、水道代を  
三〇〜五〇%節約できるそうです。

他にも、くみ上げて直接使うため、「臭い  
が少ない」ことや、ポンプが動けばくみ上げ  
ることができるため、「災害時に活用」でき  
ることなどが、メリットに上げられるそう  
です。

そんな「井戸水」にも、デメリットはあり  
ます。メリットのように、これといって目立  
つものはありませんが、無料が最大のメリッ  
トなら、「イニシャルコスト」というのが目  
につきます。水道代に反映されないポンプや  
設備などは自費で賄わなければならぬそう  
です。「井戸水」を使い続けるためのコスト  
を考えなければならぬそうです。

また、水をくみ上げるために電動ポンプを  
使用することが多く、微量ではあるが、電気  
代が発生することです。さらに電動のた  
め、「停電時は使えない」ということになり  
ます。そのため、手動ポンプを併用するとい  
う対策をしている方もいらつしやるそうです。  
他、水質は地層や環境によって大きく異な

り、環境に左右されやすく、近くで井戸を掘  
る家庭が増えれば水量が減り、「不安定」で  
あることもあげられるそうです。

今回、「水道水」と「井戸水」について調  
べてみて、初めて分かったことがたくさんあ  
りました。メリットとデメリットを考えてど  
ちらを使うか、どんな使い方をするかと考  
えることが大切なんだなと思いました。今  
まで「井戸水」は安全できれいぐらいの恥ずかし  
い認識をしていたので、改め直して、しつ  
かり考えようかなと思いました。私の家は「井  
戸水」なので、災害時や停電時などに備えて  
一番良い使い方を考え、家族に提案しようと  
思いました。